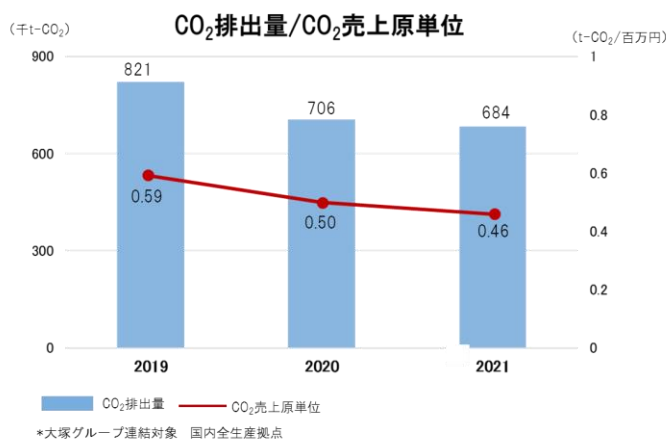


大塚グループ CDP 気候変動において最高評価の「A リスト」に選定

大塚グループは、このたび世界的な環境情報開示システムを運営する非政府組織である CDP<sup>※1</sup> より、気候変動対策および開示に優れた企業として、最高評価の「A リスト」に選定されました。



大塚グループでは、事業活動におけるすべての環境負荷をゼロにするという 2050 年環境ビジョン「ネットゼロ」のもと、まずは、気候変動においては「2028 年 CO<sub>2</sub> 排出量 2017 年比 50%削減」の目標を掲げ、太陽光発電設備や CO<sub>2</sub> フリー電力の導入による再生可能エネルギーの活用、コージェネレーションシステム<sup>※2</sup> 導入によるエネルギー利用効率の向上、燃料転換等をグローバルで推進し、グループ協働で取り組みを行っています。また、2021 年には「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言への賛同を表明、2022 年には、事業活動で使用する電力を 100%再生可能エネルギーにすることを目指す国際的なイニシアチブ「RE100」に加盟しました。



大塚グループ CO<sub>2</sub>削減の主な取り組み

CO <sub>2</sub> フリー電力	コージェネレーションシステム
 <p>国内グループ5社<sup>※1</sup>全23工場に導入 【上記写真】大塚製薬 徳島板野工場 インドネシア グループ4社<sup>※2</sup>に導入</p>	 <p>大塚製薬工場 富山工場【上記写真】 鳴門工場 大塚化学 徳島工場 (24年～新システム稼働)</p>
太陽光発電設備	LNG燃料転換
 <p>大塚製薬工場 釧路工場 大塚製薬 徳島板野工場 大塚製薬インド【上記写真】 大塚ケミカルインド</p>	 <p>大塚製薬工場 鳴門工場【上記写真】</p>

※1 大塚製薬、大塚製薬工場、大塚薬品、大塚化学、大塚食品  
※2 PT大塚インドネシア、PTアムルタインダ大塚、PTウィダトラバクティ、PTラウタン大塚ケミカル

大塚グループ CO<sub>2</sub>削減の取り組みの詳細はこちら  
<https://www.otsuka.com/jp/csr/environment/climate.html>

CDP は、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営する英国の慈善団体が管理する非政府組織(NGO)です。同団体は、世界の主要企業の環境活動についての情報を収集・分析・評価し、気候変動に関する取り組みと情報開示で最も優れた企業を「気候変動 A リスト」として毎年選定しています。2022 年は 10,000 社以上がスコアリング対象となり、日本では 74 社が A リストに選定されました。

大塚グループは、今後も新しい技術やソリューションの活用を通じ、グループ一体となって脱炭素社会  
ひいてはサステナブルな社会の貢献を目指してまいります。

※1: CDPは、2000年に設立され、現在では130兆米ドル以上の資産を保有する680以上の投資家と協力して、CDPは、資本市場と企業調達  
を利用して、企業が環境への影響を明らかにし、温室効果ガスの排出削減、水資源の保護、森林の保護を行うよう動機付ける先駆者となっ  
ている。2022年には、世界の時価総額の半分に相当する18,700社以上、1,100以上の都市、州・地域を含む、世界中の約20,000の組織がCDP  
を通じてデータを開示している。CDPは、TCFDに完全に準拠し、世界最大の環境データベースを保有しており、CDPのスコアは、ゼロカーボ  
ン、持続可能でレジリエント(強靱)な経済に向けた投資や調達の意思決定を推進するために広く利用されている

※2: 天然ガス、LPガスなどを燃料として、エンジン、タービン、燃料電池などの方式により発電し、その際に生じる排熱も同時に回収することで、  
熱と電気を無駄なく利用するシステム